

藍沢響は笑わないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	藍沢響は笑わないの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	藍沢響は笑わないを読んだことのある10代～50代の男女16名
調査期間	2025年6月21日～2025年6月22日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/aizawakyouhawardawanai/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 藍沢響は笑わないを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	4人
30代女性	0人
40代男性	8人
40代女性	2人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2: 藍沢響は笑わないの感想を教えてください。

『藍沢響は笑わない』1話	椎名さん大変過ぎるっていう印象が強いですね。せっかく看護師になって病院勤め出来てるのに、霊感体質だと気に休まる暇もなさそうです。エレベーターで藍沢先生と乗り合わせた時のシーンはかなりの恐怖でした。あんな風に走ってこられたら、自分だったら悲鳴を上げてしまいそうです。病院は人の死にかかわることが多い施設ですし、大変過ぎるなって感じました。
『藍沢響は笑わない』1話	幽霊が見える体質のひなのなのですが自分と同じ性質の響の存在を知って、なんだか嬉しくなってしまう姿が可愛いですね。なんとなく自分の気持ちを理解してくれる人が近くにいると安心するものですね。そういう気持ちの機微を作画から読み取ることが出来ました。でも響の態度がちょっと冷たい感じだったのでその部分は引っかかりましたが展開としては非常に面白かったです。
『藍沢響は笑わない』2話	今回は山中さんに色々考えさせられました。前話で登場した時は人の好きそうなおじさんって感じでしたけど、待ち合わせ場所に現れた時は違和感を覚えたんですよね。もしかして椎名に好意を抱いていて、ストーカー的なことをしているのではと。さらに椎名が藍沢先生の車から降りる時に落としたペンがその印象を強くしました。もしかしてこのペンは山中さんが椎名を監視する為に仕掛けたものではと。幸い最後に山中さんが椎名にかかわることはない展開となりましたけど、それは普通の作品ならではの話。本作は幽霊が出てくる作品ですし、もしかすると霊となって椎名にとりつくのではなんて先の展開を妄想してしまいました。まあ今回は山中さんに振り回されたなって感じました。
『藍沢響は笑わない』2話	メインキャラである藍沢の存在がとても魅力的ですね。常に彼のことが気になってしまう感じで、作中でどういう振る舞いをするのか楽しみで仕方ありません。ひなのと藍沢は二人とも霊感が強い体質なのですが、性格はまるで違うところが面白いですね。作中、非常にクールな藍沢なのですが、女性が少し苦手だということがわかるのでその点もなんだか可愛く見えてきます。
『藍沢響は笑わない』3話	藍沢のことを少し怖がっていたひなののですが、優しい一面を見て藍沢への印象が少し変わったのが伝わってきました。この二人の関係性がこれからどうなっていくのか楽しみです。さらに今回は山中の霊が登場し、何やら意味深な行動をとります。この行動の意味を考察しながら読み進めるのも面白かったです。ホラーが好きな人も満足できる回だったのではないのでしょうか。
『藍沢響は笑わない』3話	やっぱりオカルティックな作品ということで非常に自分の好きなテイストになってきましたね。山中さんという方が死んでしまったことでひなのが落ち込んでしまう姿が印象的です。しかし、そのこともストーリーに大きく関わってくるので目が離せません。作中、山中さんの霊が出てくる流れはゾクッとしましたね。ひなのが幽霊となった山中さんをシカトしてやり過ごそうとする場面は必見ですね。
『藍沢響は笑わない』4話	山中の霊に怯え続けるひなのが描かれているからこそ、藍沢のベテランな感じがより際立っているのが良かったです。こんな上司がいたら頼りたくなるだろうなあと思いました。ひなのも怖がりなわりには好奇心旺盛で、結構危ない方向へ行動を進めていくのが面白かったです。まだ山中の霊は消えてないので、これからどんなことをしでかすのかワクワクしながら楽しめました。
『藍沢響は笑わない』4話	今回、藍沢の格好いい姿が特に見えた気がしますね。山中さんに付き纏われているひなののことを優しく慮ってあげていたのが彼に対してすごく好感が湧きました。しかも藍沢は霊が見えるだけではなく除霊までできるという新たな情報までわかったのですごく興味深かったですね。まだ藍沢には何か秘密がありそうでより興味が湧きました。
『藍沢響は笑わない』5話	山中の箱からどんどん真相が明らかになっていくエピソードであり、今までで一番ドキドキしました。なぜ山中の霊がひなのに執着するのかもわかり、ちょっと切ない気持ちになりました。その一方で、藍沢はどんな状況でも落ち着いて対処するプロフェッショナルさを見せつけてくれます。ヤバイ状況こそ、藍沢のカッコよさが一際輝くことを実感しました。
『藍沢響は笑わない』5話	まさか山中さんが、集めたひなのの髪の毛を自分のへその緒に巻きつけて、生まれ変わった後で彼女と結ばれようと画策していたなんて、あまりにも予想外だったのと気持ち悪さで身の毛がよだちました。周囲に反対されて結婚できなかった20歳以上年下の相手というのも、実は恋人でもなんでもなく、一方的に山中さんが夢中になってただけなのではないかと思ってしまいました。

『藍沢響は笑わない』6話	藍沢のおかげでついに山中の徐霊が終わり、やっと一段落ついたという感じでした。さらに藍沢とひなのが連絡先を交換したり、今回の事件をきっかけに二人の距離が縮まったようでこちらも嬉しくなりました。ひなのは藍沢に対する好感度がどんどん上がっていると思います。さらに今回は藍沢の過去に何かあったと匂わせるようなシーンもあり、藍沢のことをもっと知りたくなりました。
『藍沢響は笑わない』6話	山中さんが思っていた以上に生前からヤバい人だったので、藍沢先生によって無事除霊されてホッとしました。ひなのは自制しようとしていましたが、彼女にとって藍沢先生は唯一の理解者な上危ないところを救ってくれたヒーローでもあり、優しい一面なども垣間見たことで、これから先どんどん惹かれていってしまうんだろうなと思いました。
『藍沢響は笑わない』7話	この作品はやっぱりオカルトな部分と医療というものの塩梅が丁度よく配合されていて面白いですね。森さんという重病患者についてのことが色々と描かれていたのですが、やっぱり人の命というものは千差万別だなと痛感しましたね。未告知によって本人や周りの人がどういう気持ちなのかということが作画から伝わってきましたし非常に考えさせられました。
『藍沢響は笑わない』7話	今回は特にホラー要素が強く、良い意味でそんな世界観に入り浸るような気持ちで夢中になりながら読めましたし、それでいて前話で連絡先の交換を藍沢ともしているの、恋愛模様もどうなっていくのかとても気になりました。また、藍沢の過去に何があったのかも少しずつ分かってきたので、尚更今後は目を離せなくなりました。
『藍沢響は笑わない』8話	3日間行方をくらましていた久保さんがいきなりひなのの前に現れた姿にはびっくりしましたね。てっきりもう出てこないのかなと気を抜いていた時に現れたので、ひなのと同じように驚きを隠せませんでした。藍沢はそんなひなのに対して霊を遠ざけるようにアイコンタクトを送りますが、そんなことお構いなしに久保さんはひなのに何かしでかしそうで非常にドキドキしますね。靈感があるとやっぱり色々大変だということが伝わるので目が離せません。
『藍沢響は笑わない』8話	この作品はやっぱり作画がすっきりとしているので非常に読みやすいですね。幽霊が見えるというメインの二人が、その霊と絡むことで物語が独特の空気感を孕みながら展開していくので俄然目が離せません。ひなのが看護師の仕事をしながらも、霊に翻弄されているのがちょっとコミカルでおかしいですね。作中、藍沢がひなののことを気かけながら好転させていく流れも必見です。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス